

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年9月13日
【四半期会計期間】	第45期第1四半期（自平成25年5月1日至平成25年7月31日）
【会社名】	M I C S 化学株式会社
【英訳名】	MICS CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三宅 利定
【本店の所在の場所】	愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字北山158番地89
【電話番号】	（0561）39 - 1211
【事務連絡者氏名】	取締役 企画管理部門長兼企画管理部長兼生産企画部長 伊藤 久美
【最寄りの連絡場所】	愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字北山158番地89
【電話番号】	（0561）39 - 1211
【事務連絡者氏名】	取締役 企画管理部門長兼企画管理部長兼生産企画部長 伊藤 久美
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第1四半期連結 累計期間	第45期 第1四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自平成24年5月1日 至平成24年7月31日	自平成25年5月1日 至平成25年7月31日	自平成24年5月1日 至平成25年4月30日
売上高(千円)	615,334	634,830	2,568,113
経常利益又は経常損失() (千円)	7,907	2,025	43,030
四半期純損失()又は当期純利 益(千円)	17,892	7,754	29,285
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	10,009	9,266	72,926
純資産額(千円)	3,045,309	3,077,380	3,107,287
総資産額(千円)	3,935,486	3,761,404	3,750,532
1株当たり四半期純損失金額 ()又は1株当たり当期純利益 (円)	3.41	1.48	5.59
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	77.4	81.8	82.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 第44期第1四半期連結累計期間及び第45期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純
利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりませ
ん。
4. 第44期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりませ
ん。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要
な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な金融緩和策や景気回復に向けた経済政策に対する期待から景気感は徐々に改善されつつありました。しかしながら、円安に伴う物価の上昇が燃料価格の他、食品や日用品などにも現れ始めており、今後の景気回復への影響が懸念されております。

このような状況のなか、当社グループは「フィルミックス」シリーズによる多角的に市場をつかむ活動を継続中であり、食品分野での手詰め需要から自動給袋機向け需要への対応拡大や、非食品分野である医療用、産業用向けの、新たな需要を掘り起こす活動で販売の拡大に努めてまいりました結果、売上高は6億34百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

利益につきましては、全社あげてのコスト削減に取り組みましたが、昨年の原材料価格の高騰による影響が色濃く残り、営業損失は7百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）となりました。また、受取利息や作業くず売却益の計上も加えた経常損失は2百万円（前年同四半期は経常損失7百万円）、四半期純損失は7百万円（前年同四半期は四半期純損失17百万円）となりました。

用途別の売上高につきましては、深絞り用途並びに薄くて強いフィルム（ST）の拡販に加えて、サイドシールを施した5層三方袋（SBN）規格の市場投入が始まった結果、3億80百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

非食品分野では、自動車向け製品が堅調な伸びを見せていることに加えて、新たに参入した医療分野向けの白衣袋が伸びており、1億30百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

商品につきましては、前期同様に突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）の堅調な推移と、子会社エイワファインプロセッシング㈱の加工によるシュリンクフィルムの販路拡大などにより、1億24百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、10百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,850,000
計	23,850,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年7月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年9月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,850,000	5,850,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	5,850,000	5,850,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年5月1日～ 平成25年7月31日	-	5,850,000	-	774,000	-	1,150,310

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第 1 四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年 4 月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年 7 月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 610,600	-	単元株式数100株
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,238,500	52,385	同上
単元未満株式	普通株式 900	-	-
発行済株式総数	5,850,000	-	-
総株主の議決権	-	52,385	-

（注）「完全議決権株式（その他）」欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株（議決権の数50個）含まれております。

【自己株式等】

平成25年 7 月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
M I C S 化学株式会社	愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字北山158番地89	610,600	-	610,600	10.43
計	-	610,600	-	610,600	10.43

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年5月1日から平成25年7月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年5月1日から平成25年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 4 月30日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 7 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	777,017	716,537
受取手形及び売掛金	654,705	698,907
商品及び製品	78,781	86,921
仕掛品	24,762	47,678
原材料及び貯蔵品	40,341	52,373
関係会社短期貸付金	800,000	800,000
その他	46,052	44,355
貸倒引当金	422	451
流動資産合計	2,421,239	2,446,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	419,439	413,025
機械装置及び運搬具（純額）	155,478	168,253
土地	634,701	634,701
その他（純額）	44,628	38,014
有形固定資産合計	1,254,248	1,253,994
無形固定資産	171	144
投資その他の資産		
投資有価証券	37,472	35,603
その他	37,495	25,434
貸倒引当金	94	94
投資その他の資産合計	74,873	60,943
固定資産合計	1,329,292	1,315,082
資産合計	3,750,532	3,761,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 4 月30日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 7 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	443,093	473,373
短期借入金	21,748	22,212
未払法人税等	26,870	3,956
賞与引当金	17,159	19,452
その他	62,592	112,318
流動負債合計	571,463	631,311
固定負債		
長期借入金	5,491	4,990
退職給付引当金	1,857	1,660
役員退職慰労引当金	50,483	32,875
資産除去債務	10,500	10,500
その他	3,449	2,686
固定負債合計	71,781	52,712
負債合計	643,244	684,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,828,413	1,800,017
自己株式	263,394	263,394
株主資本合計	3,489,329	3,460,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,006	3,137
土地再評価差額金	387,533	387,533
為替換算調整勘定	485	843
その他の包括利益累計額合計	382,041	383,553
純資産合計	3,107,287	3,077,380
負債純資産合計	3,750,532	3,761,404

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 5 月 1 日 至 平成24年 7 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 5 月 1 日 至 平成25年 7 月31日)
売上高	615,334	634,830
売上原価	439,526	461,746
売上総利益	175,808	173,083
販売費及び一般管理費	190,267	180,357
営業損失 ()	14,458	7,274
営業外収益		
受取利息	3,486	2,025
受取配当金	474	540
受取補償金	1,554	719
作業くず売却益	1,360	1,435
その他	100	830
営業外収益合計	6,976	5,552
営業外費用		
支払利息	143	110
売上割引	214	192
その他	67	-
営業外費用合計	425	302
経常損失 ()	7,907	2,025
特別利益		
固定資産売却益	15	-
特別利益合計	15	-
特別損失		
投資有価証券評価損	13,038	-
特別損失合計	13,038	-
税金等調整前四半期純損失 ()	20,930	2,025
法人税、住民税及び事業税	2,423	2,460
法人税等調整額	5,460	3,269
法人税等合計	3,037	5,729
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	17,892	7,754
四半期純損失 ()	17,892	7,754

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	17,892	7,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,611	1,869
為替換算調整勘定	271	357
その他の包括利益合計	7,883	1,511
四半期包括利益	10,009	9,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,009	9,266

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、連結子会社の第1四半期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が当第1四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
受取手形	849千円	879千円

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)
減価償却費	17,312千円	21,861千円

（株主資本等関係）

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月13日 取締役会	普通株式	20,961	4	平成24年4月30日	平成24年7月17日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月14日 取締役会	普通株式	20,957	4	平成25年4月30日	平成25年7月16日	利益剰余金

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日）

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日）

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 5 月 1 日 至 平成24年 7 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 5 月 1 日 至 平成25年 7 月30日)
1 株当たり四半期純損失金額 ()	3円41銭	1円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 () (千円)	17,892	7,754
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額 () (千円)	17,892	7,754
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,239	5,239

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年 6 月14日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額..... 20,957千円

(ロ) 1 株当たりの金額..... 4円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日..... 平成25年 7 月16日

(注) 平成25年 4 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年9月13日

M I C S 化学株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 服部 則夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古田 博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているM I C S 化学株式会社の平成25年5月1日から平成26年4月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年5月1日から平成25年7月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年5月1日から平成25年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、M I C S 化学株式会社及び連結子会社の平成25年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。